チーム金剛中だより

令和５年５月号　　発行責任者 校長 岩片 啓子

寺池台一丁目1番1号　0721-29-1404　http://www.city.tondabayashi.osaka.jp/kongo/

言い方

「はよお風呂入りなさい！」「こんなとこにカバン置きっぱなし！」「も～！また靴下ぬぎっぱなし！」「洗濯もんのかごに自分で入れてって何回言うたらわかんのよ！」と私。それに対し、「今、入ろと思ってたんやんか！」「そんな言い方せんでもええやん！」「今からやろうと思ってたのに、そんなこと言われたらやる気なくしたわ！」と我が子。子どもが中学、高校の頃、こんな会話が我が家では日常でした。

「自分は間違っていない」と思うと、イライラが怒りに変わっていきます。自分ばっかり忙しい、やることが山ほどあるのに時間がない、心にゆとりがない…そう思うと、ついつい口調が強くなります。すると、子どもも必ずけんか腰で言い返してきます。当時は互いに自分が正しいと思っているので、この悪循環により家庭内の空気が悪くなることがよくありました。今思えば、子どもの言い分もあったのでしょう。こちらの『言い方』も悪かったんだと思います。

「アサーション」という言葉を数年前に知りました。“自分の伝えたいことも相手の伝えたいことも、どちらも大切にする、気持ちのよい自己表現”のことです。「あ！こんなところに靴下が！　きっと今やろうと思ってたんやろけど、私より先に入れてくれたらうれしかったな～」と言っていたら、「あ、ごめ～ん。」で終わっていたのでしょう。「ドラマ終わってお風呂に入ってくれたら、早く片付くから私はうれしいな～」と言っていたら、「わかった～、終わったら入る。」で、話は済んでいたでしょう。こちらの言い方をちょっと変えるだけで、怒りの気持ちが増幅しなくて済んだのに…と、今なら理解できます。

自分の意見と相手の意見が違う時、相手に攻撃的になったり、排除したり、反対に何も言えず我慢してしまったりすると、お互いストレスがたまるだけです。全面的に自分だけが折れるのではなく、どちらも少しずつ我慢する、少しずつでも“折り合い”をつけると、平行線だった気持ちも、遠い先には交わるものです。

学級組織が決まり、宿泊学習や校外学習への取組みがスタートしました。クラスの中でも意見を出し合う場面が増え、自分とは違う考えだなぁと感じることも多くなってきます。学校では、この「自分とは違う」場合に、その違いを伝える必要性があるときの『言い方』を、子どもたちと一緒に考えながら、心の成長を促していきます。私自身もまだまだ勉強中です！

５月の行事予定

日	曜	給食	クラブ	行事
1	月	○	○	木の時間割
2	火	○	○	〈45分×4+50分〉金1～4 5限：学習参観 6限：宿泊、校外学習説明会
3	水			憲法記念日
4	木			みどりの日
5	金			こどもの日
6	土			
7	日			
8	月	○	×	〈45分×6〉一斉下校　会議日
9	火	○	○	内科検診①
10	水	○	×	〈50×5+掃除、終礼〉一斉下校　会議日
11	木	○	×	〈45分×6〉一斉下校　会議日
12	金	○	×	放：委員会活動
13	土		×	テスト前部活停止
14	日		×	
15	月	○	×	〈45分×6〉一斉下校　会議日
16	火	○	×	内科検診②　テスト前補充
17	水	○	×	〈45分×6+生徒集会〉　尿検査二次　テスト前補充
18	木	×	×	中間テスト（国、社、数）
19	金	×	○	中間テスト（理、英、学）
20	土			
21	日			
22	月	○	×	〈45分×6〉一斉下校　研修日
23	火	○	×	〈45分×6〉一斉下校　研修日
24	水	○	○	耳鼻科検診13:30～　尿検査二次予備日
25	木	○	○	眼科検診14:00～
26	金	○	○	1年6限：体育館　1年部活なし
27	土			1年宿泊学習
28	日			1年宿泊学習
29	月	×○○	○	1年代休
30	火	×○○	○	1年代休
31	水	○	○	尿検査二次予備日

各種相談窓口

下記以外の教職員でも構いません。

セクハラ相談窓口　校長（岩片）、教頭（上村）、生徒指導（芝池）、養護教諭（藤井）

スクールカウンセラーへの相談窓口　教頭（上村）、生徒指導（芝池）

支援教育・発達相談の窓口　支援教育コーディネーター（田中）

いじめ等生徒指導の相談窓口　生徒指導（芝池）

健康・食物アレルギー相談窓口　養護教諭（藤井）